



シリーズ 第10回

塩竈市民図書館

館長 高橋 正勝



塩竈市民図書館は、昭和51年に旧公民館の2階に塩竈市立図書館としてスタートしました。その後、平成3年、市街地再開発事業による再開発ビル『壱番館』の3階4階に現在の市民図書館をオープン致しました。海と船をモチーフにした館内は明るく開放的なイメージで利用者が急増しました。図書館内には工作事業等が出来る「創作室」や塩竈の歴史をわかりやすく展示した「タイムシップ塩竈」が設けられています。

「楽しむ」「学ぶ」「調べる」「考える」をキーワードに図書館サービスを行っております。

平成12年には、ホームページが開設され、インターネットによる蔵書検索やメールでのリクエストが可能になりました。館内にも利用者開放パソコンが設置され、インターネットやCD-ROMの閲覧サービスが開始されました。

宮城県図書館を中心に各公共図書館と相互貸借を行い利用者の利便性を図りながら、今後とも身近な図書館として市民の皆様から親しまれ、信頼される図書館を目指しサービスを行って参ります。

*開館時間：火～金曜日 10:00～18:00
土・日曜日 10:00～17:00

*休館日：月曜・祝（休）日・毎月末日、
年末年始（12月28日～1月4日）、特別整理期間

*交通案内：JR仙石線・本塩釜駅から徒歩3分

データ

蔵書冊数：182,228冊（平成15年4月1日現在）
貸出冊数：314,089冊（平成14年度実績）

住所：〒985-0052 塩竈市本町1-1
TEL：022-365-4343 FAX：022-365-4100

*ホームページ

<http://www.library.city.shiogama.miyagi.jp/>

*Eメール

library@city.shiogama.miyagi.jp



表紙エッセイ / 伊坂幸太郎さん

いさか・こうたろう。作家。1971年千葉県生まれ。仙台市在住。1995年東北大学法学部卒業。1996年サントリーミステリー大賞で、『悪党たちが目にしみる』が佳作。2000年、第5回新潮ミステリー倶楽部賞を受賞した『オーデュボンの折り』でデビュー。近刊に『アヒルと鴨のコインロッカー』がある。

ふ ど き ご よ う か き だ し
『風土記御用書出』（安永風土記）
安永2年（1773）～安永9年（1780）

安永風土記に魅せられて

宮城県地名研究会 三文字 孝司

安永風土記との出会いは、60才を過ぎてからのことである。

謎の神社「二渡神社」を調べている時であった。日本地名研究所の谷川健一先生から「宮城県には安永風土記という資料があるからあたってみなさい。」と指摘され、『宮城県史 資料篇1～6』をめくりはじめたのが最初である。

現在の地図上で調べて行くだけでなく、風土記で江戸時代安永期の村の姿をちょっとかじって現地に行くだけでも、視点がひろがる、と感じた。その後、要害地名を探るためにも、風土記記載の仏像で、どんな作者名が有るかなど、三回ばかり目を通した。

読んでいるうちに仙台藩内の村々の肝入諸氏の真摯な記述がひしひしと伝わってくる。書式は決められてはいるが、誇張なしの自分の村の姿を報告しようとしている。

とはいえ、肝入自身の考えもかいま見える。

仏像の作者で 運慶御作 運慶御作と申伝候 運慶御作と申伝候事と三つの記述の仕方がある。そう信じている そのように伝えられてきたと距離をおいている そうはいうものの本当かなあ、と書き手が思っている、息吹が伝わってくる。

安永風土記を基礎資料に、寛永の検地帳の地名、明治小字調書などを並べると、その村の変遷のようすが見えてくる村もある。まともって、貴重な資料がすぐ手にとれるということから風土記は宮城県の宝である。村によって脱落している場所も多いが、安永風土記の資料を片手に今から三百年前の村の姿を探しながら実地に歩いてみませんか、とお誘いしたい。

図書館からのお知らせ

特別整理期間のため休館します

資料の特別整理のため、下記の期間は休館します。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

期間：平成16年2月26日（木）～3月10日（水）

忘れ物・落し物にご注意ください

最近、館内での忘れ物・落し物、コインロッカーからの荷物の取り忘れなどが多くなっています。お帰りの際は、もう一度身の回りの手荷物をご確認ください。また、館内での忘れ物・落し物で持ち主がわからないものについては、東側玄関脇のガラスケースに展示していますので、お心当たりの方はご確認ください。

なお、貴重品と傘についてはお問い合わせください。

ことばのうみ

題字 作家・高田 宏氏 本誌タイトル『ことばのうみ』は、本館第8代館長・大槻文彦編著による日本最初の近代的国語辞典『言海（げんかい）』（1889～1891年刊行）に由来する。

第15号 2004年1月発行

編集・発行

宮城県図書館

〒981-3205 仙台市泉区紫山1丁目1番地1
TEL 022-377-844（代表）FAX 022-377-8484
ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/library/>

古紙配合率100%再生紙と大豆油インキ（SOYインキ）を使用しています。



この「ことばのうみNo.15」は15,000部作成し、1部当たりの印刷単価は16.1円です。